特定非営利活動法人草加市カヌー協会

草加パドラーズ

[会報第 544 号] 令和 4 年 11 月 4 日発行

□草加パドラーズ事務局 住所 草加市松江 2-4-16 □電話 048-931-3844

蒲生船着場/8 名 4 袋

秋晴れカヌー日和

11 月 2 日(水)、木村、村田、篠岡、松下、渋谷、高橋、長谷川、井坂の 8 名が**蒲生船着場**

間 2.1 kmで **4 袋分の成果**でした。秋晴れのカヌー日和でした。又、干潮から上げ潮に変化した時間帯で、ゆったりとした流れで往路 30 分、復路 30 分の快適な活動でした。いくつかの浅瀬が干潟状になり救助艇運行時の参考になりました。

ガラスの破片 要注意

蒲生船着場へ上陸して休憩をとりましたが、**階段付近にガラス瓶の破片が沢山散乱**していましたので拾い集めました。皆で綺麗に片づけました。大変ご苦労様でした。

文化の日／風間船着場 13名2袋

11月3日(祝)、定例活動に古田、村田、田中親子、吉良、木下、浅井、稲木、石崎、井坂、相原の**11名と獨協大学生**島田、菅野2名の**合計13名が参加**し、**風間船着場間1.0㎞で2袋分の成果**でした。**大学生2名と田中瑛、石崎瑠は、来る松尾芭蕉杯カヌー大会へ参加することを意識**してカヌーを漕ぐ練習をしました。公園では商工会議所祭りがにぎやかに開催され、岸辺から多くの人々に見てもらう事が出来ました。秋晴れの下、充実した活動が出来ました。

幸手市立郷土資料館講演会

写真の歩みと「埼玉東部の写真史」

11月3日(文化の日)、幸手市郷土資料館で「写真の歩みと埼玉東部写真史」という演題で、講師中島清治氏の講演会が開催されました。古写真を通して、**幕末・明治・大正・昭和の写真の歴史**と地域の行事・風俗・町並みを学ぶ大切さが話されました。奥州日光道中幸手宿、権現堂川、江戸川、利根川などの川を活かした街づくりにも触れ、草加と幸手の共通性と先進性を写真文化の歴史を通して学びました。明治・大正期の**草加の写真師豊田清光、幸手の写真師佐藤百三郎、アマチュア写真家浜田得一の業績**を顕彰し、これからの街づくり、人づくりに活かしてまいりましょう・・と締めくくられました。原館長さんと参加して頂いた幸手市の皆さんに大変喜んでもらえました。